



面積の観点から最も性能が高くなるという見積もり結果が得られた。また、稼働率がネットワーク規模の大きさに伴い上昇することから、より複雑で演算回数の多いネットワーク構成の DNN であっても、高稼働率での実行が可能であるといえる。今後、この見積もりをもとに実装を行い、実際の性能評価を行う。

## 参考文献

- [1] Akane Saito, Yuki Umezaki, and Makoto Iwata, “Hardware Accelerator for Differentiable Neural Computer and Its FPGA Implementation, ”PDPTA’17, pp. 232-238, July 2017.